

名古屋大学 地域医療教育学講座 IPE 関連の業績まとめ

平成 21 年（2009 年）10 月～令和 6 年（2024 年）3 月現在

正規カリキュラム

＜つるまい・名城 IPE＞（関連資料 3, 6, 11, 24, 25, 27, 31, 35, 38, 45, 47, 54, 58, 64, 69, 73, 80, 82, 84, 93, 94, 95） 医学科 5 年生 臨床実習 I

良いチーム医療が実践できる医療者を育成するために臨床実習に IPE を導入することが必要と考え、平成 23 年（2011 年）度、医学生、薬学生、看護学生を対象にした IPE パイロット研究として、トライアルで「つるまい IPE」として、スタートした。その結果、本 IPE を受けた学生は「他職種の役割理解の上昇」「知識・情報共有の重要性発見」「疾病中心の線的医療モデルから患者中心のチーム医療モデルに変化」などのチーム医療の特性を学んだことがわかり、教育効果が検証されたため、平成 24 年（2012 年）度、正規カリキュラム 医学科 5 年生臨床実習 1 オムニバス週 つるまい IPE を導入することとなった。

平成 25 年（2013 年）度から、看護学生が年間 20 名ほど参加し、2 学科あるいは 3 学科の IPE を行ってきた。平成 27 年（2015 年）、「つるまい IPE」を「つるまい・名城 IPE」に名称を変更した。

現在までに、「気管支喘息退院指導」「糖尿病インスリン導入」「禁煙指導」「認知症支援」の 4 つを IPE のテーマとして選択し地域医療教育学講座が作成、多学部教員で検討しブラッシュアップしたものを名城 IPE ホームページでアップされている。

令和元年（2020 年）、日本医師会の取材を受け、ドクターゼ 33 号授業探訪 医学部の授業をしてみよう！【前編】に掲載された。令和 4 年（2022 年）7 月には、文部科学省 池田義隆副大臣が視察された。

＜医薬入門 IPE＞（関連資料 7, 20, 44） 医学科 1 年生 医学入門

平成 21 年（2009 年）度から開始している医学科一年生医学入門のカリキュラムに、平成 30 年（2018 年）度から名城大学薬学生約 200 名と 2 学科で取り組む IPE として、パワーアップした。ボードゲーム iPEG: interprofessional education game を使用した part 1, cinemeducation を行う part 2, そして学部混合グループで発表する part 3 に分かれている。

<基本的臨床技能実習 IPE> (関連資料 3, 21, 43)

医学科 4 年生 基本的臨床技能実習 多職種連携教育

平成 24 年 (2012 年) 度から、基本的臨床技能実習に多職種連携教育が組み込まれた。さらに、平成 28 年 (2016 年) 度から、事例のモデルである当事者を招聘することとなった。多患者 (家族) 中心の質の高い医療を実践するためには、医師は医療・福祉に関わる多職種と協働して患者 (家族) のケアにあたることが重要である。本授業では、認知症などの慢性疾患を持つ当事者または、その家族を招聘し、患者 (家族) 中心の医療とはどのようなことか、それを実践するために、医師としての役割、多職種の役割と協働を学習する。実際の事例をもとに学生が情報共有と療養計画作成のためのグループワークを行い、多職種及び患者 (家族) の視点を理解し、チームで協働できることを目的とする。看護学生 約 10-30 名が参加し、2 職種の IPE を行っている。

<地域医療学の IPE>

医学科 4 年生 地域医療学

平成 25 年 (2013 年) 度から、医学科 4 年生必須講義として、地域医療学を担当している。平成 30 年度からは、独居身体障害者の悪性リンパ腫を伴うシナリオの退院先として、自宅に賛成または反対、そしてジャッジに分かれてディベート形式のグループワークを導入した。過去に看護学生数名の見学参加があったが、現在も他学部の参加を呼びかけている。

<地域における IPE> (関連資料 42, 59, 72, 73, 75, 88, 89)

医学科 4 年生 選択特別講義「地域における IPE」

平成 25 年 (2013 年) 度から、医学科 4 年生選択講義に、地域における IPE を開始した。医学生、薬学生、看護学生、社会福祉学生、理学療法生、作業療法生の 6 学科の学生が参加した SP 参加型実習を行ってきた。前半はチームビルディングやレクチャーを行い、後半は学科混合チームで肺がん末期患者のシナリオを元に症例検討を行い、模擬患者 (SP) との医療面接から情報収集をして患者中心型療養計画を作成する。ディスカッションを繰り返しながら、他職種の役割や視点の気づきを得ることができ、多職種連携医療に必要なコミュニケーションを学ぶ。

令和 5 年 (2023 年) 度から、濃尾 A 事業としてウェアラブルカメラを用いた模擬在宅訪問診療を多職種連携教育(IPE)として行った。模擬在宅訪問診療を行っている様子を、360 度カメラでライブ中継を行い、多学科の学生と患者・家族はウェアラブルカメラを装着して各々の視野を録画し、自らの模擬診療を省察した。

<https://novi-a.med.nagoya-u.ac.jp/activity/education/post-47.html>

オリジナルカリキュラム

<糖尿病（健康増進）教室 IPE> （関連資料 1, 2, 3, 5, 9, 12, 15, 23, 26, 28, 30, 48-53, 55-57, 65）

平成 26 年（2014 年）度から開始した。「糖尿病教室 IPE」は、糖尿病教室を多職種学生が企画・運営をし、振り返りをする活動である。医学生、薬学生、看護学生、栄養学生、（理学療法生）と各学部教員とともに活動を行ってきた。約 1 ヶ月に渡る IPE プログラムで、学部混合グループに分かれて学生主体で企画を練る。名城 WEB キャンパスを使用し、web 会議等を行いながら準備したものを地域病院の協力のもと、通院中の糖尿病患者を対象に学生による糖尿病教室を実施してきた。令和 2, 3 年（2020, 2021 年）度は、完全オンラインで実施した。令和 4 年（2022 年）度は、今までの糖尿病教室の取り組みを基盤に「認知症の人と家族の会」をアドバイザーとして招聘し、認知症当事者及び家族介護者、そして一般市民に向けたオンライン健康増進教室を、医療系学生が企画・実施するプログラムを実施した。

<スコットランドとの IPE> （関連資料 8, 17, 29, 70）

スコットランドのアバディーンにあるロバートゴードン大学と多職種連携教育を通じて交流があり、国際共同教育研究を行った。

<いわい IPE> （関連資料 67）

平成 25 年 12 月「是非、多職種の学生と共に磐井で IPE をやりましょう！」という岩手県立磐井病院の加藤院長の誘いから始まった IPE は、平成 26 年（2014 年）度に第一回、平成 27 年（2015 年）度に第 2 回、平成 28 年（2016 年）度に第 3 回を一泊二日で行った。医学、歯学、薬学、看護学の学生と教員が集まり、磐井病院の緩和医療で入院中の患者やスタッフとともに見て・聴いて・感じる体験学習で“新たな地域医療”を学ぶ。「職種を越える、地域を越える、自分を越える！」をキャッチコピーにプログラムの作成を行った。平成 29 年（2017 年）度以降は磐井病院が独立して実施する方針となった。

<在宅における IPE> （関連資料 14）

名古屋大学医学部地域枠 6 年生、看護学生、リハビリテーション療法学生を対象とした IPE。旧名古屋通信病院で実習中の当講座地域枠 6 年生と看護学生そしてリハビリテーション療法学生で在宅医療について多職種連携教育をおこなった。大幸砂田橋クリニックから患者宅へ訪問し、直接情報収集を行い、患者中心の在宅療養計画を作成した。実際の患者と接することで、緊張感も増した実習となった。

1) 論文

論文題名および著者名	発表雑誌	巻	頁	年
1. COVID-19 パンデミックを経た市民参加型の多職種連携教育について 末松三奈、肥田武、安友裕子、半谷眞七子	医学教育	54(6)	610-612	2023
2. 医療系学生が働きかける、認知症当事者及び家族介護者、そして一般市民に向けたオンライン健康増進教室 末松三奈 https://sugi-zaidan.jp/smf/wp-content/uploads/2023/07/4_第11回助成受賞者(研究分野)末松三奈様.pdf	(第11回)杉浦助成対象の成果報告(研究分野) Journal of Sugiura Foundation for Development of Community Care	12		2023
3. 学生は模擬患者及び市民参加の多職種連携教育から何を感じ・気づくか（総説） 末松三奈	日本ヘルスコミュニケーション学会誌	14	22-28	2023
4. コロナ禍において実施したオンラインでの模擬患者家族参加型多職種連携教育 野田幸裕, 末松三奈, 高橋徳幸, 岡崎研太郎, 淵田英津子, 阿部恵子, 半谷眞七子, 吉見陽, 葛谷雅文	薬学教育	5	1-9	2021
5. Students' perception of a hybrid interprofessional education course in a clinical diabetes setting: a qualitative study Mina Suematsu, Kenichi Okumura, Takeshi Hida, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Etsuko Fuchita, Keiko Abe, Hiroyuki Kamei, Manako Hanya	International Journal of Medical Education	12	195-204	2021

6.	オンラインを用いた「糖尿病教室 IPE」でのファシリテーションの意義 末松三奈, 肥田武, 安友裕子, 半谷眞七子	医学教育	52(3)	280-282	2021
7.	A novel online interprofessional education with standardised family members in the COVID-19 period Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Etsuko Fuchita, Akira Yoshimi, Manako Hanya, Yukihiro Noda, Keiko Abe, Masafumi Kuzuya	International Journal of Medical Education	3(12)	36-37	2021
8.	多職種連携教育ゲーム (Interprofessional Education Game:iPEG) 日本語版の開発. 末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 朴賢貞, 高橋徳幸, 岡崎研太郎, Sundari Joseph, Lesley Diack	医学教育	50(2)	199-202	2019
9.	A Scottish and Japanese experience of patient-centered diabetic care : descriptive study of interprofessional education on live webinar Suematsu M, Sundari Joseph, Keiko Abe, Hiroki Yasui, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Jenni Haxton, Morag McFadyen, Patrick Walker, Lesley Diack	Nagoya Journal of Medical Science	80(4)	465-473	2018
10.	糖尿病教育に対する患者及び家族のニーズ ―学生による糖尿病教室を通して― 平松成美, 末松三奈, 肥田武, 岡崎研太郎, 高橋徳幸, 阿部恵子, 瀧田英津	糖尿病医療学	第1巻	25-30	2018

子, 安井浩樹, 半谷眞七子, 亀井浩行, 村松秀彦, 脇田久, 小森拓, 山内恵子, 植村和正, 葛谷雅文				
11. A大学看護学生の協同学習に対する認識と影響要因. 會田信子, 三好沙知, 河地美紀, 山下麻衣, 山崎古都, 半谷眞七子, 阿部恵子, 野田幸裕, 亀井浩行, 末松三奈, 安井浩樹, 植村和正	医学教育	48	59-69	2017
12. 模擬患者参加型の多職種連携教育(つるまい・名城 IPE)の有用性 後藤綾, 半谷眞七子, 吉見陽, 内田美月, 竹内佐織, 會田信子, 末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 亀井浩行, 野田幸裕	薬学雑誌	137	733-744	2017
13. 医・薬・看護・栄養学生による糖尿病教室が学生のチーム医療に対する認識に及ぼす影響 The effects of interprofessional diabetes education program for medical, pharmacy, nursing and dietician students 山田未知, 末松三奈, 會田信子, 山内恵子, 阿部恵子, 安井浩樹, 野田幸裕, 亀井浩行, 半谷眞七子	保健医療福祉連携	9 (2)	2-12	2016
14. 多職種連携によるチームコミュニケーション教育 安井浩樹	地域ケアリング	18(3)	56-57	2016
15. 在宅ケアにおける多職種連携教育 医学生と理学療法学大学院生の協働 阿部恵子, 安井浩樹, 内山靖, 末松三奈, 植村和正	医学教育学会誌	46 (6)	503-507	2015
16. 糖尿病教室 IPE(interprofessional education)～患者参加型 IPE の試み～ 末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 會田信子, 半谷眞七子, 亀井浩行, 山内恵	医学教育学会誌	46	79-82	2015

子, 小森拓, 脇田久, 植村和正				
17. 多職種連携によるチームコミュニケーション教育 阿部恵子, 安井浩樹, 青松棟吉	日本ヘルスコミュニケーション学会雑誌	5(1)	18-19	2015
18. A Scottish – Japanese collaboration, Joseph S, Abe K, Haxton J, Park HJ	CAIPE December e bulletin	25		2013
19. 多学部教員協働による医薬看護学生教育用シナリオ開発のこころみ 安井浩樹, 野呂瀬崇彦, 網岡克雄, 櫻井しのぶ, 青松棟吉, 阿部恵子	医学教育	44(4)	253-257	2013
20. 地域における多職種連携推進ワークショップ 安井浩樹, 網岡克雄, 青松棟吉, 阿部恵子, 平川仁尚, 倉田洋子, 野田雄二, 植村和正	医学教育	42(5)	289-293	2011

2) 国際学会発表

演題名	発表者	学会名	年 月 日
21. A successful, enjoyable interprofessional education program for first-year healthcare students	Ryota Asai, Mina Suematsu, Kentaro Okazaki, Noriyuki Takahashi, Masafumi Kuzuya, Wataru Ohashi	AMEE (Association for Medical Education) 2019	2019年8月 28日
22. A patient involvement programme toward interprofessional approach in fourth year medical students before clinical training	Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Keiko Abe, Masafumi Kuzuya	AMEE (Association for Medical Education) 2019	2019年8月 26日
23. A qualitative study of interprofessional	Yui Wakabayashi, Mina Suematsu,	48 th Annual Scientific Meeting	2019年7月 3-5日

collaborative practice in community-based dementia care in Scotland and Japan – the nurse perspective–	Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Etsuko Fuchita, Manako Hanya Keiko Abe, Masafumi Kuzuya, Morag McFadyen, Sundari Joseph, Lesley Diack	of the SAPC (Society for Academic Primary Care), Exeter, UK	
24. Effectiveness of an “interprofessional diabetes education program” using a collaborative learning system in the Web campus on undergraduate healthcare professional students	Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Etsuko Fuchita, Kenichi Okumura, Manako Hanya, Keiko Yamauchi, Keiko Abe, Masafumi Kuzuya	48 th Annual Scientific Meeting of the SAPC (Society for Academic Primary Care), Exeter, UK	2019 年 7 月 3-5 日
25. Verifying the reliability and validity of the Japanese version of Interdisciplinary Education Perception Scale (IEPS)	Hyuga Suzuki, Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Masafumi Kuzuya, Kenta Murotani	AMEE (Association for Medical Education)	2018 年 8 月 27 日
26. What could students learn through a half-day interprofessional education programme using standardized patients for dementia care in clinical setting?	Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Etsuko Fuchita, Manako Hanya, Keiko Abe, Masafumi Kuzuya	47 th Annual Scientific Meeting of the SAPC (Society for Academic Primary Care), London, UK	2018 年 7 月 11 日
27. Qualitative differences between student-led and	Kota Ishida, Mina Suematsu, Noriyuki	47 th Annual Scientific Meeting	2018 年 7 月 11 日

medical staff-led diabetes education programme: An exploratory research for ideal programme	Takahashi, Kentaro Okazaki, Etsuko Fuchita Manako Hanya, Keiko Abe, Keiko Yamauchi, Masafumi Kuzuya	of the SAPC (Society for Academic Primary Care), London, UK	
28. Effective interprofessional education for teamwork and communication with medical, pharmacy, and nursing students	Shamoto T, Abe K, Suematsu M, Hanya M, Fuchita E	AMEE (An International Association for Medical Education) 2017	2017年 8月 26日-31日
29. 'The evaluation of teamwork skill and understanding each profession's perception through the new student-led interprofessional diabetes education programme'	Mina Suematsu, Keiko Abe, Manako Hanya, Etsuko Fuchita, Keiko Yamauchi, Hiroki Yasui	All Together Better Health VIII	2016年 9月 8日
30. A Scottish and Japanese experience of patient centered interprofessional Diabetic care with a simulated patient	Mina Suematsu, Sundari Joseph, Keiko Abe, Hiroki Yasui, Lesley Diack, Morag McFadyen, Patrick Walker, Jenni Haxton, Kazumasa Uemura ^[1]	AOCO (the 8th Asia-Oceania Conference on Obesity) 2015	2015年 10 月 3日
31. Impact of student-led interprofessional diabetes education program on patients' motivation: A qualitative study	Makoto Ito, Mina Suematsu, Hiroki Yasui, Keiko Abe, Kazumasa Uemura	AMEE (An International Association for Medical Education) 2015	2015年 9月 7日
32. Interprofessional Diabetic patient centred care and working	Mina Suematsu, Keiko Abe, Hiroki Yasui, Kazumasa Uemura	2015 Wonca Asia Pacific Regional Conference	2015年 3月 6日

33. Interprofessional students' empathic talking can change behavior of patients and their families	Mai Kanda, Keiko Abe, Hiroki Yasui, Mina Suematsu, Manako Hanya, Nobuko Aida, Muneyoshi Aomatsu, Kazumasa Uemura	12th International Conference on Communication in Healthcare in Amsterdam.	2014年9月29日-10月1日
34. "Two or more", the impact of the number of professions in inter-professional education	Hiroki Yasui, Keiko Abe, Mina Suematsu, Muneyoshi Aomatsu, Kazumasa Uemura	12th International Conference on Communication in Healthcare in Amsterdam.	2014年9月29日-10月1日
35. Interprofessional education in home-care improved interprofessional students' team communication competences	Keiko Abe, Hiroki Yasui, Mina Suematsu, Manako Hanya, Nobuko Aida, Muneyoshi Aomatsu, Kazumasa Uemura	12th International Conference on Communication in Healthcare in Amsterdam.	2014年9月29日-10月1日
36. Interprofessional education (IPE) program could be one of the most important strategies for global standards in medical education	Mina Suematsu, Keiko Abe, Hiroki Yasui, Kazumasa Uemura	Association for Medical Education in Europe (AMEE) 2014	2014年9月1日
37. Pre-IPE" program in professional groups may relieve students' worries in IPE	INOUE S, ABE K, SUEMATSU M, AOMATSU M, YASUI H, UEMURA K	Association for Medical Education in Europe (AMEE) 2014	2014年8月30日-9月3日
38. Does "Interprofessional Education" In The Mono-Professional Setting Improve Students Understanding Of Patient-Centred Care?	Hiroki Yasui	11th Asia Pacific Medical Education Conference (APMEC)	2014年1月15日-19日

39. What do medical and pharmacy students learn in Interprofessional education with a standardized patient?	Ryosuke Ichihara, Keiko Abe, Hiroki Yasui, et al.	11th Asia Pacific Medical Education Conference (APMEC)	2014年1月 15日-19日
40. An IPE certainly prepares students to become a collaborative practitioner: The evaluation of Interprofessional education in a Japanese medical school	Sho Inoue, Keiko Abe, Hiroki Yasui, Kazumasa Uemura, Yukihiro Noda, Manako Hanya, Nobuko Aida	Association for Medical Education in Europe (AMEE) 2012 (Lyon, France)	2012年8月 25日-29日
41. Assessing the impact of the workshop for collaborative practice (CP) by analyzing participants' action plans	Hiroki Yasui, Katsuo Amioka, Takahiko Norose, Muneyoshi Aomatsu, Keiko Abe, Yoshihisa Hirakawa, Kazumasa Uemura	Association for Medical Education in Europe (AMEE) 2012 (Lyon, France)	2012年8月 25日-29日
42. Comparison of teaching methods in undergraduate interprofessional education, between a standardized patient and a paper patient	Keiko Abe, Sho Inoue, Muneyoshi Aomatsu, Yasuhiro Noda, Manako Hanya, Nobuko Aida	Association for Medical Education in Europe (AMEE) 2012 (Lyon, France)	2012年8月 25日-29日

3) 国内学会発表

演題名	発表者	学会名	年 月
43. 模擬患者参加型多職種連携教育の“これまで”と“これから”	淵田英津子, 岡崎研太郎, 末松三奈, 高橋徳幸, 野田幸裕, 吉見陽, 内山靖, 池松裕子, 玉腰浩司, 山口みほ, 阿部恵子	日本看護学教育学会 第31回学術集会 (交流セッション)	2021年8月 18日
44. Challenge of implementation of a	Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi,	第51回日本医学教育学会大	2020年7月

patient involvement IPE programme in fourth year medical students, international session	Kentaro Okazaki, Etsuko Fuchita, Wataru Ohashi, Keiko Abe, Masafumi Kuzuya	会 (紙上発表)	
45. 1年次における医・薬合 同多職種連携教育プログ ラムの効果	末松三奈, 浅井遼太, 半 谷眞七子, 湊田英津子, 高橋徳幸, 岡崎研太郎, 大橋渉, 葛谷雅文	第51回日本医 学教育学会大 会(京都)	2019年7月 26日
46. 認知機能低下を伴う糖尿 病療養に対する模擬患者 (SP)参加型多職種連携教 育(IPE)	末松三奈, 高橋徳幸, 岡 崎研太郎, 吉見陽, 半谷 眞七子, 野田幸裕, 湊田 英津子, 葛谷雅文	第62回日本糖 尿病学会年次 学術集会(仙 台)	2019年5月 25日
47. 日本とスコットランドの 認知症ケアに対する多職 種連携の在り方--看護師 の語りによる質的分析--	若林唯, 末松三奈, 高橋 徳幸, 岡崎研太郎, 半谷 眞七子, 湊田英津子, 鈴 木裕介, 葛谷雅文	第61回日本老 年医学会学術 集会(仙台)	2019年6月 9日
48. 多職種連携教育に対する 認識尺度(IEPS)日本語 版の信頼性と妥当性の検 証	鈴木日向, 末松三奈, 岡 崎研太郎, 高橋徳幸, 半 谷眞七子, 吉見陽, 野田 幸裕, 湊田英津子, 室谷 健太, 葛谷雅文	第50回日本医 学教育学会大 会(東京)	2018年8月 4日
49. 糖尿病教室における多職 種協働の検討--「学生に よる糖尿病教室」を通し て	末松三奈, 高橋徳幸, 岡 崎研太郎, 半谷眞七子, 亀井浩行, 山内恵子, 肥 田武, 湊田英津子, 村松 秀彦, 脇田久, 小森拓	第61回日本糖 尿病学会年次 学術集会(東 京)	2018年5月 26日
50. 多学部学生の協働による 「糖尿病教室 IPE(多職 種連携教育)」が参加者 にもたらすもの	加藤真由子, 末松三奈, 半谷眞七子, 高橋徳幸, 岡崎研太郎, 阿部恵子, 湊田英津子, 安井浩樹, 肥田武, 亀井浩行, 山内	第4回日本糖 尿病医療学学 会(京都)	2017年10 月7日-8日

	恵子, 脇田久, 小森拓, 植村和正, 葛谷雅文		
51. Web キャンパスを取り入れた糖尿病教室 IPE(多職種連携教育)が学生に及ぼす影響	奥村謙一, 末松三奈, 半谷眞七子, 高橋徳幸, 岡崎研太郎, 阿部恵子, 瀧田英津子, 安井浩樹, 肥田武, 亀井浩行, 山内恵子, 脇田久, 小森拓, 植村和正, 葛谷雅文	第4回日本糖尿病医療学学会(京都)	2017年10月7日-8日
52. 多学部学生の協働による患者教育プログラムを用いた多職種連携教育(IPE)の効果	加藤真由子, 末松三奈, 肥田武, 高橋徳幸, 岡崎研太郎, 阿部恵子, 瀧田英津子, 安井浩樹, 半谷眞七子, 亀井浩行, 山内恵子, 脇田久, 小森拓, 植村和正	第49回日本医学教育学会大会(札幌)	2017年18日-19日
53. 糖尿病 IPE (多職種連携教育)が学生のチームワーク能力および自他職種への理解に及ぼす影響	末松三奈, 肥田武, 安井浩樹, 阿部恵子, 瀧田恵津子, 半谷眞七子, 亀井浩行, 山内恵子, 村松秀彦, 脇田久, 小森拓, 植村和正	第60回日本糖尿病学会年次学術集会(名古屋)	2017年5月18日-20日
54. 糖尿病教育に対する患者及び家族のニーズ—学生による糖尿病教室を通して—	平松成美, 末松三奈, 肥田武, 阿部恵子, 瀧田恵津子, 安井浩樹, 半谷眞七子, 村松秀彦, 亀井浩行, 小森拓, 山内恵子, 植村和正	第3回日本糖尿病医療学学会	2016年10月8日
55. チーム医療を支える多職種連携教育 (Interprofessional Education & Practice :	吉見陽, 半谷眞七子, 後藤綾, 末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 亀井浩行, 野田幸裕	第1回日本薬学教育学会大会(京都)	2016年8月28日

IPEP) -医薬連携による 模擬患者参加型 IPEP			
56. 「糖尿病教室 IPE (多職種連携教育)」が学生の チームワーク能力および 自他職種への理解に及ぼ す影響 ～2年間のまとめ～	末松三奈, 阿部恵子, 肥 田武, 安井浩樹, 半谷眞 七子, 亀井浩行, 會田信 子, 植村和正	第 48 回日本医 学教育学会大 会	2016 年 7 月 30 日
57. 糖尿病教室 IPE プログラ ムが医療系学生に及ぼす 影響	山田未知, 末松三奈, 會 田信子, 山内恵子, 阿部 恵子, 安井浩樹, 野田幸 裕, 亀井浩行, 半谷眞七 子	第 10 回日本フ ァーマシュー ティカルコミ ュニケーショ ン学会大会 (名古屋)	2016 年 5 月 29 日
58. 医・薬・看護・栄養学生 による糖尿病教室が学生 の患者への関与およびチ ーム医療に対する認識に 及ぼす影響	山田未知, 半谷眞七子, 末松三奈, 會田信子, 山 内恵子, 阿部恵子, 安井 浩樹, 野田幸裕, 亀井浩 行	日本薬学会第 136 年会 (横 浜)	2016 年 3 月 27 日
59. チーム医療の実践に向け た多職種連携教育 (Interprofessional Education : IPE) の有用 性	後藤 綾, 半谷眞七子, 肥田裕丈, 長谷川章, 椿 井 朋, 毛利彰宏, 末松 三奈, 阿部恵子, 安井浩 樹, 亀井浩行, 野田幸裕	第 25 回日本医 療薬学会年会 (横浜)	2015 年 11 月 21 日
60. 在宅医療を考える模擬患 者参加型多職種連携教育 が 6 専門職種学生に及ぼ す影響	阿部恵子, 寺田八重子, 三浦昌子, 安井浩樹, 野 田幸裕, 毛利彰宏, 池松 裕子, 會田信子, 植村和 正	第 17 回日本看 護医療学会学 術集会	2015 年 10 月 10 日
61. A 大学看護学生の協同学 習に対する認識と影響要 因(第 4 報) ソーシャル サポートとの関係	山崎古都, 三好沙知, 河 地美紀, 山下麻衣, 半谷 眞七子, 阿部恵子, 毛利 彰宏, 野田幸裕, 亀井浩	第 7 回日本へ ルスコミュニ ケーション学 会学術集会	2015 年 9 月 5 日

	行, 末松三奈, 安井浩樹, 植村和正, 會田信子	(福岡)	
62. A 大学看護学生の協同学習に対する認識と影響要因(第3報) 対人葛藤方略スタイルとの関係	山下麻衣, 山崎古都, 三好沙知, 河地美紀, 半谷眞七子, 阿部恵子, 毛利彰宏, 野田幸裕, 亀井浩行, 末松三奈, 安井浩樹, 植村和正, 會田信子	第7回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会 (福岡)	2015年9月5日
63. A 大学看護学生の協同学習に対する認識と影響要因(第2報) 仮想的有能感との関係	河地美紀, 山下麻衣, 山崎古都, 三好沙知, 半谷眞七子, 阿部恵子, 毛利彰宏, 野田幸裕, 亀井浩行, 末松三奈, 安井浩樹, 植村和正, 會田信子	第7回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会 (福岡)	2015年9月5日
64. A 大学看護学生の協同学習に対する認識と影響要因(第1報) 個人特性との関係	三好沙知, 河地美紀, 山下麻衣, 山崎古都, 半谷眞七子, 阿部恵子, 毛利彰宏, 野田幸裕, 亀井浩行, 末松三奈, 安井浩樹, 植村和正, 會田信子	第7回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会 (福岡)	2015年9月5日
65. 医薬連携を活かした多職種 of 学生と共に学ぶチーム医療の実践: 多職種連携教育	野田幸裕, 半谷眞七子, 亀井浩行, 毛利彰宏, 末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹	27年度 ICT 利用による教育改善研究発表会 (東京)	2015年8月7日
66. 糖尿病教室 IPE (多職種連携教育) が学生のチームワーク能力および自己職種への理解に及ぼす影響	末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 植村和正	第47回日本医学教育学会 (新潟)	2015年7月24日
67. 名古屋大学医学部における多職種連携教育と名古屋 IPE ネットワーク	安井浩樹, 阿部恵子, 末松三奈, 植村和正	第47回日本医学教育学会 (新潟)	2015年7月24日-25日

68. 一般病院で行った医療系学生のための多職種学生連携教育ワークショップ「いわい IPE」	加藤博孝, 安井浩樹, 阿部恵子, 平野拓司, 横沢聡, 佐藤耕一郎	第 47 回日本医学教育学会 (新潟)	2015 年 7 月 24 日-25 日
69. 卒前・卒後医学教育における多職種連携教育(IPE)の現状・問題と今後の課題 薬学教育における多職種連携教育の壁を乗り越える iPED の試み	野呂瀬崇彦, 日紫喜光良, 櫻井しのぶ, 安井浩樹	第 47 回日本医学教育学会 (新潟)	2015 年 7 月 24 日-25 日
70. 多職種連携教育に参加した医・薬・看護学生のチーム医療に対する認識の変化	小川英也, 稲垣雅志, 半谷眞七子, 阿部恵子, 安井浩樹, 末松三奈, 野田幸裕, 他	日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会 第 9 回大会 (東京)	2015 年 5 月 24 日
71. Patient-Centered Approach をテーマにした多職種連携教育(Interprofessional Education: IPE)の試み スコットランドとの協働	末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 植村和正	第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会	2015 年 5 月 21 日
72. 地域における在宅患者・家族参加型他職種連携教育の取り組み	阿部恵子, 安井浩樹, 末松三奈, 野田幸裕, 半谷眞七子, 毛利彰宏, 會田信子	第 24 回日本歯薬学会年会	2014 年 9 月 27 日
73. 学部の特性に配慮した, 「多職種連携教育(IPE)のための模擬患者(SP)参加型シナリオの検討」	末松三奈, 青松棟吉, 阿部恵子, 安井浩樹, 植村和正	第 46 回日本医学教育学会	2014 年 7 月 19 日
74. Development of Nagoya Team Work Scale (NTwS) to measure teamwork	K Abe, T Tamakoshi, H Yasui, M Aomatsu, M Suematsu, K Uemura	第 46 回日本医学教育学会	2014 年 7 月 18 日-19 日

competence of health care professionals			
75. 「医学部における多職種連携教育(IPE)がチーム医療に及ぼす影響」	末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 植村和正	第 51 回日本リハビリテーション医学会学術集会	2014 年 6 月 6 日
76. チーム医療による実地体験型の糖尿病教室実施の試み	小森拓, 脇田久, 村松秀彦, 伊藤升美, 河瀬千里, 小椋真也, 長谷川功二, 中川裕子, 鈴木康之, 水谷早苗, 杉本直美, 馬場園愛, 鈴木安子, 堀田敦子, 西川正恵, 牧邨舞, 末松三奈	第 57 回日本糖尿病学会年次学術集会	2014 年 5 月 22 日-24 日
77. 多職種連携教育の学術的背景と成果について:名古屋大学における取り組み	阿部恵子	第 4 回 THP(トータルヘルスプランナー)年次集会	2014 年 3 月
78. 地域における多職種連携の課題	安井浩樹	地域における多職種医療連携講演会	2014 年 2 月
79. 学校教育から生涯学習まで~シームレスな多職種連携教育の発展に向けて~	阿部恵子	多職種連携シンポジウム	2014 年 1 月
80. 多職種連携カンファレンス	安井浩樹, 阿部恵子	岩手県立病院医学会分科会	2013 年 12 月
81. A practice of smoking cessation assistance as a strategy of interprofessional education for collaborative practice	安井浩樹	第 8 回日本禁煙科学会学術総会	2013 年 11 月
82. 多職種連携教育で育てる	安井浩樹	第 3 回薬学教	2013 年 10 月

新たな薬剤師像～超高齢社会を支える医療人をめざして～		育者のためのアドバンストワークショップ	月
83. 患者中心医療実現のための「家族アプローチ」という視点-多職種連携教育にみる医・薬と医・薬・看の違い-	阿部恵子, 青松棟吉, 安井浩樹, 野田幸裕, 半谷眞七子, 毛利彰宏, 會田信子, 植村和正	第15回日本看護医療学会学術集会	2013年9月
84. 多職種連携によるチームコミュニケーション教育	阿部恵子	第5回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会	2013年8月
85. 多職種連携教育に参加した看護学生のチーム医療に対する認識	濱田陽子, 半谷眞七子, 亀井浩行, 毛利彰宏, 野田幸裕, 阿部恵子, 青松棟吉, 安井浩樹	第5回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会	2013年8月
86. 薬学部における在宅医療シナリオを用いた“多職種連携教育”の試み～単一学部における効果と課題について～	安井浩樹, 阿部恵子, 青松棟吉, 網岡克雄, 石黒彩子, 平川仁尚, 植村和正	第5回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会	2013年8月
87. 多学部教員協働による医薬看護学生教育用のシナリオテキスト開発	安井浩樹	第45回日本医学教育学会	2013年7月26日-27日
88. How do student's perceptions of interprofessional collaboration change among medical, pharmacy, nursing, physical therapy and occupational therapy	K Abe, M Hanya, Y Noda, K Tamakoshi, Y Uchiyama, Y Sawada, M Aomatsu, H Yasui, K Uemura	第45回日本医学教育学会	2013年7月26日-27日

students by a pilot study in interprofessional education?			
89. 5 学科合同 IPE での適用経験	阿部恵子	医薬看クロスオーバー演習出版記念講演会	2013 年 5 月
90. 多職種連携教育に参加した薬剤師のコミュニケーション能力に関する検討：薬学生の抱く心理的障壁	阿部恵子, 井上祥, 青松棟吉, 安井浩樹, 野田幸裕, 半谷眞七子, 會田信子, 植村和正	第 31 回日本社会薬学会大会	2012 年 9 月 15 日-16 日
91. 効果的な IPE を可能にする教育戦略の考察：コミュニケーションの障壁の分析	井上祥, 阿部恵子, 青松棟吉, 安井浩樹, 野田幸裕, 半谷眞七子, 會田信子, 植村和正	第 4 回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会	2012 年 9 月 7 日-8 日 (奨励賞受賞)
92. 多職種連携教育が医学生的情動能力に及ぼす影響教育方略による検討	阿部恵子, 井上祥, 青松棟吉, 安井浩樹, 植村和正	第 44 回医学教育学会大会 (横浜)	2012 年 7 月 27 日-28 日
93. 地域における多職種連携推進ワークショップ開催の試み	安井浩樹, 青松棟吉, 阿部恵子, 植村和正	第 43 回医学教育学会大会 (広島)	2011 年 7 月 22 日-23 日

4) 書籍

94. 「薬学生のためのワークブック チーム医療で薬剤師に必要な 多職種とのコミュニケーションがわかる！」野田幸裕編著 金芳堂 2024 年 3 月刊行
 第 4 章 薬剤師と代表的な医療専門職（種）（医師や看護師）との連携の仕方 ②
 医師→薬剤師・看護師
 第 5 章 ワークブック ④ 糖尿病
 を執筆

95. 医学生のための無料情報誌「ドクターゼ」第33号（発行：日本医師会，編集：有限会社ノトコード）授業探訪 医学部の授業を見てみよう（本誌38～39頁／全44頁中）2020年4月 https://www.med.or.jp/doctor-ase/vol33/33page_id22tagaku1.html
96. 医・薬・看クロスオーバー演習チーム医療の現状と問題点，そして未来・・・ 青松棟吉，阿部恵子，網岡克雄，後藤克幸，櫻井しのぶ，野呂瀬崇彦，安井浩樹著 京都広川書店 2013年3月